

## 医学部保健学科放射線技術科学専攻学生，健闘光る！

## —平成 25 年度放射線取扱主任者（第一種）試験合格発表—

平成 25 年度放射線取扱主任者試験（国家試験）合格者発表が，原子力規制委員会のもと 10 月 21 日（月）の官報（号外第 227 号）官庁報告に掲載発表され，本学医学部保健学科放射線技術科学専攻学生 17 名（大学院生 1 名含む）が見事，試験合格を果たした。

## （報道概要）

## 【放射線取扱主任者とは？】

「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律に定められている放射線障害の防止について監督を行わせるため，文部科学省令で定める事業区分により，放射線取扱主任者免状を有する者のうちから，事業所ごとに放射線取扱主任者を選任しなければならない」と法律で定められている。そのうち第 1 種放射線取扱主任者は，最も広範な事業区分，例えば密封されていない放射性同位元素の使用及び放射線発生装置の使用に関して，この第 1 種放射線取扱主任者だけが監督することを許可されている。

放射線取扱主任者の業務内容としては，放射性同位元素（放射性ヨウ素など）を取扱施設，また放射線を発生させる装置（放射線治療装置など）を有している病院や研究機関，事業所などにおいて，放射線の安全管理や放射線障害の防止，放射線従事者の健康管理など，放射線に関する全般的なことを管理監督する業務を行っている。放射線に関わる全ての施設では決して欠くことのできない重要な職務である。近年，原子力災害や放射能汚染に伴う放射線教育の重要性が増し，放射線取扱主任者の立場から一般市民や小中高校の教員に対して放射線教育の講師や，放射線災害対策の行政活動のアドバイザーとして迎えられる機会が全国的に増えている。

## 【放射線取扱主任者試験（第 1 種）について】

この試験は放射線取扱主任者資格の最上位に位置する。正式な免状取得には試験合格と登録資格講習機関が行う主任者講習を受講しなければならないが，試験合格は免状取得の必要条件であるとともに，放射線に関わるあらゆる分野（医療や原子力分野を含む。）においては，「放射線のスペシャリスト」を誇示することができるレベルの高い資格の一つされているので，試験合格するだけでもその価値は非常に大きい。

登録試験機関による年 1 回の試験が 8 月下旬に行われ，試験合格者発表が 10 月下旬のこの時期に官報を通じて公表される。例年，全国で約 4,000 名が受験し，合格者数は約 1,000 名程度，合格率は平均約 25%で比較的難関に

分類される国家試験となっている。また最近では放射線治療や診断に代表される高度な放射線利用の拡大や原子力災害に伴う放射能汚染対策などありその受験者数は増加傾向にある。

【本学保健学科放射線技術科学専攻学生のこれまでの実績と本年度の結果】

平成 13 年 10 月の保健学科放射線技術科学専攻の発足を機に、質の高い診療放射線技師を養成する教育研究において、本専攻の特性を十分に生かした有用な資格を積極的に取得するよう学習指導を行っている。第 1 種放射線取扱主任者試験はその資格の中でも本専攻カリキュラムの講義や実習、研究に即した内容である。これまで本専攻学生のこの資格取得に対するモチベーションは非常に高く、入学年次から最終学年の学部学生、さらには保健科学教育部の大学院生まで（卒業生も含む。）と幅広く行き渡っている。例年ほぼ毎年約 10 名程度の合格者を輩出している。本年度、17 名（大学院生 1 名含む、卒業生を含めると 20 名）の本専攻学生が見事合格を果たした。参考のため、下表（表 1）に本専攻学生及び全国の受験者数、合格者数、合格率を示す。合格率に注目すると、本専攻学生の合格率は約 6 割近くに達しており、全国のそれと比較してもかなり高い水準に位置していることが確認できる。（受験会場の一つである大阪会場における合格者数の約 7%は、本学専攻学生で占めている。）また今回、試験合格数の本専攻 3 回生における合格率が非常に高く、早い段階から資格取得に対する目的意識の高さや放射線科学への興味の高さ（講義や実習に取り組む姿勢など）を証明する結果であったといえる。

表 1 平成 25 年度 第 1 種放射線取扱主任者試験における本学医学部保健学科放射線技術科学専攻学生の受験状況

	受験者数	合格者数	合格率
3 年学部生	11	8	72.7%
4 年学部生	18	8	44.4%
大学院生	1	1	100%
本専攻全体	30	17	56.7%
全国	4,179	1,233	29.5%
卒業生		3	

お問い合わせ先

部局名 大学院ヘルパティサイエンス研究部

責任者 阪間稔

担当者 阪間稔

電話番号 088-633-9862

メールアドレス

sakama@medsci.tokushima-u.ac.jp